

第3回入間市指定管理者候補選定委員会会議録

- 1 日時 平成25年7月11日(木)午後2時55分～3時55分
- 2 場所 第4委員会室
- 3 出席者 委員長 副市長 友山宏一
委員 企画部長 西勝啓祐、総務部長 石川定夫、浅見喜代治、齋藤秀雄
福祉部長 田中利之(黒須保育所、扇台福祉作業所を所管する部長)
所管課 児童福祉課 課長 布施川利夫、副参事 築地延恭、主幹 晝間忠利、
主任 宮崎秀代
障害福祉課 課長 鈴木浩昭、主幹 須田美菜子
事務局 企画部次長 加藤保夫、企画課 課長 長谷川芳明、主幹 藤田拓也、
副主幹 石井英寿

4 議事

議題

- (1) 黒須保育所の現指定期間の総括・評価
- (2) 扇台福祉作業所の現指定期間の総括・評価

委員長： 本日は、今回の選定対象6施設のうち福祉2施設についての現指定期間を総括し、管理運営状況等を評価する。所管課において、指定管理者の自己評価と所管課の評価をまとめた「評価シート」を作成し、利用者の評価を把握するために「アンケート」を実施している。指定管理者の自己評価、所管課の評価、利用者の評価、前回行った視察での各委員の評価・感想を基に審議いただきたい。

(1) 黒須保育所の現指定期間の総括・評価

委員長： 児童福祉課からアンケートと評価シートの説明を受けた後、委員から自由に意見をいただき審議する。

児童福祉課： アンケートについて説明する。黒須保育所入所児童80名の保護者、62世帯を対象に、4月30日に行った書面によるアンケートである。5月15日を期限に、回答は無記名で提出いただいた。53世帯から回答され、回収率85.5%だった。主な質問内容と結果を説明する。

まず、「黒須保育所は、現在、社会福祉法人樹人会が運営していますが、行われている保育内容を見て、どのようにお感じですか」という問いに対し、「満足している」「おおむね満足している」「特に問題はない」の回答が全体の約9割を占め、高い評価をいただいた。

続いて、「所長、保育士等の職員について満足しているところはありますか」と

という問いに対し、これは複数回答となっているが、「送迎時の対応」と「子どもへの接し方」が多く、これは保護者と児童への対応が行き届いていることの表れだと考えている。

続いて、「所長、保育士等の職員について不満に感じているところがありますか」について、これも複数選択だが、「特に不満に感じているところはない」が最も多い回答であった。その他については例えば、「土曜や夏休み等の保育を先生たちのお休みの都合で早くお迎えにこいと言われる」「お迎えに行った時、なかなか出て来てもらえない」「子どもや保護者からの意見や要望は、あまり取り入れてもらえない」などの意見がある。これらについては保育所にも伝え、今後対応すべきところはしっかりと対応していただく。

続いて、「黒須保育所の良いと思うところは何ですか」については、「散歩や戸外遊び」「給食・おやつ」が高い評価をいただいている。

次に、「指定期間の5年が満了するまでに、再び新しい指定管理者を選定する必要がありますが、これにより結果として運営者が変わる可能性があります。このことは、ご存知ですか」という問いについては、「知らなかった」という回答が多く、多くの方が指定管理者の状況・内容を知らないということが分かった。

次に、「黒須保育所の運営法人が社会福祉法人樹人会以外の法人に変わる可能性があることについてはどうお考えですか」は、「わからない」が最も多かったが、「できれば変えてほしくない」という回答も多く寄せられている。以上をアンケート結果の説明とする。

委員長： 続いて、評価シートについて説明願う。

児童福祉課： ここに記載されている評価項目について、まず指定管理者に評価をしていただいた。その後、6月14日に児童福祉課が施設に出向き、管理者側からの聞き取りと現状確認をしたうえで、課としての評価をした。評価ランクについては、「A（大変優れている）」「B（優れている）」「C（適正である）」「D（更なる努力が必要）」「E（改善すべき）」で評価した。

主な項目について児童福祉課の評価を説明する。まず、利用者サービス向上全般についてだが、保護者から寄せられた意見を取り入れ、ニーズに対応し、適正に保育サービスが実施できるよう利用者サービスの向上に取り組んでいるが、今回実施をした保護者アンケートの意見には、一部に保育内容の改善を望む意見も見受けられたので、その内容を整理、協議して改善策に結びつけなければならないとして、「B」評価とした。

施設・設備の維持管理全般について、施設の管理は、仕様書に基づき適切に管理されており、施設・設備の点検記録なども適正に管理されている。また、施設の老朽化により修繕箇所も増加しているが、市と協議しながら計画的に修繕に取

り組んでいると評価し、「A」とした。

続いて、緊急時対応全般についてだが、事故発生時に速やかに対応できるよう、日頃から連絡体制を確保し、また、積極的に感染症やアレルギーなどの研修に参加をして安全で安心な保育の実施に取り組んでいる。こちらも「A」評価とした。

続いて、組織運営及び体制全般についてだが、各種の職員研修を実施するほか、県等が主催する研修会（発達障害に関する研修や運動に関する研修）にも積極的に参加し、職員の資質及びサービスの向上に取り組んでいる。職員配置についても国基準等を遵守し適正に配置されているということから「A」評価とした。

最後に、黒須保育所の指定管理者全体についての評価である。この施設は昭和45年1月1日に設置され、平成元年から入間市が委託、また、平成18年から指定管理を実施している。施設や設備の経年劣化が見られ、修繕箇所も増加しているが、指定管理者側が修繕や清掃等の維持管理業務に努め、市と協議しながら計画的に修繕に取り組んでいる。保護者アンケート結果によると保護者から様々な意見が寄せられたが、平成26年度以降も社会福祉法人樹人会が黒須保育所の指定管理をすることを望む意見が多かった。これも児童福祉法に基づいた適正な保育所運営が行われているためであると評価でき、今後も黒須保育所に対する「利用者サービスの向上」と「効果的かつ効率的な管理」が期待できるということで「A」評価とした。

委員長： 各委員からアンケート、評価シート等について質疑を受け付ける。

委員： 入間市がやっている保育所はこの黒須保育所だけなのか。

児童福祉課： 指定管理者については黒須保育所だけである。公立は黒須保育所を含め11施設ある。

委員： なぜここだけ指定管理者になったのか。

児童福祉課： 平成18年に指定管理者制度を導入するにあたり、その時点で黒須保育所だけが民間委託を行っていたためである。

委員長： 公立保育所の民間委託を進めようというということで、平成元年にまず手始めに黒須保育所を委託したが、その後は進まなくなり、結果、1カ所だけということになった。現在、入間市には公立保育所が11と民間保育園が14で合計25ある。保育所は公立から私立へ移行させようという国の考えがある。現在はそういった流れではある。

委員： アンケートの「黒須保育所は、現在、社会福祉法人樹人会が運営していますが、行われている保育内容を見て、どのようにお感じですか」という問いで、「不満がある」が0人だが、自由意見欄に不満の意見があるのでどのように集計したのか分からない。

児童福祉課： 「不満がある」と回答した人はいなかったが、自由意見で不満も記載され

ていたということである。

委員：先ほどの説明で、意見について指定管理者側には伝えてあるとのことだったが、先ほど説明した部分について伝えてあるのか、それともアンケート全体について伝えてあるのか。

児童福祉課：アンケート結果、自由意見ともにすべて伝えてある。

委員：「所長、保育士等の職員について不満に感じているところはありませんか」との問いに対する自由意見欄に、「土曜や夏休み等の保育を先生たちのお休みの都合で早くお迎えにこいと言われる」といった意見があるが、こういった問題はどこでもあることなのか、それとも民間化したところでこういった傾向が強くなるのか。

児童福祉課：保育士の言い方や、保護者の捕らえ方にもよるが、保護者の仕事が終わった際には早く迎えに来よう願う声はどこでも一般的に行われていることである。

委員：自由意見の内容で、例えば保育時間が短すぎるなどの意見があるが、この意見に対応するには指定管理料が高くなる。このような場合に市として今後の方向性はあるのか。他にも駐車場が遠いなど、指定管理者には関係の無い要望が多々あるが、どう対応していくのか。

児童福祉課：時間延長については黒須保育所に限らず民間保育所においても一部の保護者からは要望がある。これは少数意見であり、一人ひとりのために時間延長してよいものなのかは疑問である。時間を延長すれば保育料の保護者負担も増え、また、運営費もかさむ。これらのことから、一概に要望に応じていくのは難しいと考える。また、駐車場は、黒須保育所の近隣に駐車場がないので200mほど離れた位置にある。近所で確保できればよいのであろうが、これも保育所の負担になるので、なかなか近所で確保することが難しい状況である。

(2) 扇台福祉作業所の現指定期間の総括・評価

障害福祉課：アンケートは、扇台福祉作業所通所者13名の保護者を対象に、4月30日に書面による無記名回答で行った。5月15日を回答期限とし、11名から回答され、回収率84.6%だった。質問内容と結果を説明する。

まず、「扇台福祉作業所に通所している通所者ご本人の年齢は」についてだが、最も多いのは40代であった。比較的高齢の方が多い。

「お持ちの手帳は、何手帳ですか」という問いに、障害者には3種類の手帳があるが、療育手帳が10名、身体障害者手帳が2名の計12名だった。回答数を上回っているが、複数の手帳を持っている方もいるためである。

「扇台福祉作業所に通所して何年目ですか」という問いに対しては、21～25年と26年以上という回答が多く、長く働いている方が多いということが分かる。

「扇台福祉作業所以外の通所施設を利用したことはありますか」の問いではほとんどの方が扇台福祉作業所のみを利用しているということが分かる。

「その通所施設は、扇台福祉作業所と比較してどうでしたか」については、「その他」も含めて4名の回答があったが、扇台福祉作業所が一番良かったという回答が最も多かった。

「扇台福祉作業所で行われている活動内容を見て、どのようにお感じですか」は、「満足している」「おおむね満足している」がそれぞれ3名で、過半数を占めている。ただし、「やや不満がある」という方も2名いる。

「活動内容は通所者ご本人の作業能力に合っているとお感じですか」の問いは、「合っている」「おおむね合っている」が9名で、ほとんどの方が合っていると感じていることが分かる。

「通所者ご本人は作業所での生活に馴染めているように感じますか」については「よく馴染んでいる」が8名、「おおむね馴染んでいる」が3名で、全員がこのどちらかを回答した。

「職員について満足しているところはありますか」は、「当人への接し方」という回答が最も多く、「送迎時の対応」「相談や意見を言いやすい雰囲気」という回答も多かった。また、「その他」という回答には、自由意見欄に内容が記載されており「毎朝、明るく笑顔で迎えていただき本当に感謝している。体調面でもいつも気遣っていただいている」という評価をいただいている。

「職員について不満に感じているところはありますか」の問いに対しては、「特に不満に感じているところはない」という回答が7名で最も多い。ただし「その他の回答もあり、保護者が不審に感じる部分があるのでしっかり対応して欲しいといった意見も寄せられた。

「扇台福祉作業所の良いと思うところは何ですか」という問いに対して最も多かった回答は、「衛生健康管理・事故防止体制・セキュリティ体制」で7名であった。それ以外にも年間を通じた活動行事なども多く回答をいただいている。これについてもその他の意見がある。「毎日楽しく過ごしている。社会人としての居場所があることなど、健康につながっていると思っている」という意見をいただいている。

「扇台福祉作業所の活動で、今後実施してほしいと思うサービスはありますか」については、「送迎」という回答が9名と最多であった。自由意見にも「親も子も歳を重ねていく中で、送迎はなくてはならない必要なことだと思っている。実現に向けてどうかよろしくお願い致します。」という意見をいただいている。

「扇台福祉作業所は、指定管理者制度のもとで運営されている作業所であることをご存じですか」という問いについては、知っている方が9名で最も多い

「扇台福祉作業所は、市が設置していますが、指定管理者（民間法人等）が運営をしている「民営」の作業所です。扇台福祉作業所の運営者が「民営」であることについて、どうお考えですか」に対しては、「運営者は運営内容が良ければどちらでもよい」という意見が最も多かった。この質問に対し、「運営者は、市（市の職員）がよい」を選んだ方への質問「扇台福祉作業所に関して、指定管理者制度のどこに問題があると思いますか」については、やはり「指定期間が満了する度に運営法人が変わるかもしれないことに問題がある」との回答が最も多かった。

「運営法人が変わる可能性があることについてお聞きします。扇台福祉作業所は、現在、社会福祉法人入間市社会福祉協議会が「指定管理者」に指定されており、市が作業所の管理・運営を5年間お願いしています。指定期間の5年が満了するまでに、再び新しい指定管理者を選定する必要がありますが、これにより結果として運営者が変わる可能性があります。このことは、ご存知ですか」という問いに対し、「知っている」が7名、「聞いたことがあるが内容は詳しく知らない」が4名であった。続いて、「扇台福祉作業所の運営法人が社会福祉法人入間市社会福祉協議会以外の法人に変わる可能性があることについてはどうお考えですか」の問いについては、「絶対に変えないでほしい」が5名、「できれば今のまま変えてほしくない」が2名で合わせて7名の方が変えてほしくないということだった。

委員長： 続いて、評価シートについて説明願う。

障害福祉課： この評価シートは、社会福祉協議会から毎月の報告、毎年の監査、この調査の回答をいただいた後の現場確認などを基に評価したものである。評価ランクについては、「A（大変優れている）」「B（優れている）」「C（適正である）」「D（更なる努力が必要）」「E（改善すべき）」で評価した。

利用者サービスの向上全般について、障害福祉課は「利用者個々に対して、個別支援計画を作成している。計画の作成には、保護者からの情報、面談、作業所での生活についての評価を基にしている。個別支援計画には、短期目標、長期目標、注意すべき点等が細かく記載されており、職員はその情報を共有したうえで日々の支援を行っている。特に、障害の重複している方、自閉症の方への対応は難しく、研修を受講したり、会議を重ねたりすることで対応をしている様子が伺えた。また、保護者からの意見・要望・苦情に対しても、職員会議で協議し対応、記録していることが確認された」と記述した。実際に現場を訪れたり、扇台福祉作業所と障害福祉課が密に連絡を取ったりして連携を図っているが、その中で特段大きな問題もなく、大変優れているということで「A」評価とした。

続いて、施設・設備の維持管理全般についてだが、「施設内外の点検については、毎朝日直が目視により行っている。また、清掃、整理整頓・ゴミの処理について

も適切に行われており、清潔な環境を維持している。保健衛生に関しては、通常の業務での注意点、感染症予防についての対応等の取組みが適切になされている。今後は、現在の取組み等をまとめた保健衛生マニュアルを作成するよう指導した」と記載した。施設・設備の維持管理全般を評価するにあたり、「仕様書に基づき、保健衛生に関するマニュアルを作成しているか」というチェック項目を満たしていないため、「B」評価とした。その対応として今後、作成するよう指導している。

緊急時対応全般の評価について。障害福祉課では「緊急時の対応については、連絡体制の確保がなされており、適切に対応している。また、事故防止、事故時の対応についても、研修の受講、職員間の情報共有を図っており、安全な生活環境の確保に努めている。利用者への対応については、個別のマニュアルを作成し、きめ細やかな対応ができるよう努めている。今後は、安全管理の総合的なマニュアルを作成するよう指導した」と記述した。緊急時対応のチェック項目として「仕様書に基づき、安全管理マニュアルを作成しているか」とあるが、消防計画などは作成しているものの、総合的な安全管理マニュアルは作成していない。これも今後、作成するよう指導している。これを踏まえて「B」評価とした。

組織運営及び体制全般についての評価だが、「職員体制については、現在の利用者数（13名）及び利用者の障害の状況に合った体制が整っており、運営も適正に行われている。職員研修には特に力を入れており、職員の資質向上に努め、情報の共有化も図られている。個人情報管理、経理業務についても、適正に行われている」としている。以前より経営理念等は大変きちんと整備されている。そういったことから「A」評価とした。

指定管理全般について、障害福祉課の記述は「入間市扇台福祉作業所は、昭和58年から入間市が委託をしており、その間、適正で安定した管理・運営を行っている。当作業所の利用者も長期の在籍者が多く、職員が利用者一人一人の個性、特性をよく把握し、その特性に合った対応をしている。市・関係機関・保護者との信頼関係も厚く、「就労能力の限られている心身障害者に自活に必要な職業訓練、生活指導を行い、もって社会的自立の助長を図ること」という目的を達成するために、職員が日々熱意を持って取り組んでいる。保護者アンケート結果からも、今後も当作業所を社会福祉協議会が運営することを希望する意見が多く、入間市福祉作業所設置及び管理条例に基づいた運営が期待できる」としている。アンケート結果からも現状の社会福祉協議会で管理運営をしていただきたいという声が非常に多い。そのことも含め「A」評価とした。

委員長： 各委員からアンケート、評価シートについて質疑、あるいは視察で感じた点などがあれば受け付ける。

委員： まず、職員が一生懸命働いているというのが視察をした際の第一印象である。

さて、アンケート内容ではなく、実施方法だが、具体的にはどのような方法でアンケートを行ったか。13名しかいないので、誰が何を書いたか大体分かってしまうと思われるが。

障害福祉課： 確かに黒須保育所のように大勢を対象としたものとは異なる。保護者内でも自分の記載内容が知られてしまうのではないかという危惧があることは我々も把握していた。しかし、事実を書いていただきたいので、無記名とした。また、郵送等で行うと回収率が悪くなるので、アンケートと一緒に封筒を配布し、記入後、封をしたものを一旦福祉作業所で預かっていただき、開封せずに障害福祉課に提出いただくという方法をとった。また、アンケート結果をフィードバックするために社会福祉協議会に集計結果はお渡ししたが、個々の用紙は提出していない。

委員： 施設を見て、様々な障害を持った方がいる中でそれぞれの特性に合った仕事をしている印象を受けた。長年にわたり取り組んでいるからこそできるのだろうと思った。さて、質問が1点ある。安全管理のために市が評価している意味合いがある。管理者は安全管理がしっかりできているという評価をしているが、仮に利用者がケガをした場合、市の責任の範囲はどのようなものか。

障害福祉課： 扇台福祉作業所は市の条例に従って設置している作業所である。しかし、現状万が一そこで事故が発生した場合、全ての責任を社会福祉協議会にとらせるわけにはいかない。事故の内容や原因にもよるが、指定管理をしている以上、市に全く責任が無いということではないというように解釈している。

委員長： 全体を通して質疑、あるいは意見があれば受け付ける。

委員： 施設を所管する部として、確認と今後検討していく上でおさえておいていただきたいことがあるので申し上げる。第1回選定委員会で配られた資料の「公の施設への指定管理者制度適用に係る指針」をご覧ください。入間市が指定管理者を導入するときの基本的な考え方をまとめたものである。「2 指定管理者制度適用に係る基本的な考え方」の(2)-イ-②に、制度の適用をより慎重に検討すべき施設として「福祉関係施設で、現在の管理形態により福祉の向上に一定の成果をあげていると認められる施設」とある。指定管理者制度の導入を検討していた平成17年当時、他の保育所が直営である中、黒須保育所は樹人会に管理委託していた。また、扇台福祉作業所は社会福祉法人に管理委託していた。先に述べた要件があるため慎重に検討し、この2施設のみ指定管理者制度を導入したという経緯がある。

先ほど委員から質問された、他にも保育所があるが、なぜ指定管理ではないのかという疑問に対する回答につながるものである。平成18年より指定管理者を導

入してそれぞれの施設を管理運営しているわけだが、第1期の3年間、第2期5年間の8年間をそれぞれの法人が適切に運営をしていただいている、ということをご理解いただきたい。先ほど担当課から説明のあったアンケートや評価の結果からも、この8年間非常に安定したサービス、運営がなされているというように、担当部としては認識している。

委員： 評価ランクの「A」と「B」の区別はどうしているのか。私が視察した感想では、2施設とも「B」でよいのではないかと思うが、担当課の評価では「A」になっている根拠を知りたい。

委員長： 先ほど障害福祉課からは何点か「B」となった部分について説明があったが、児童福祉課はどうか。

児童福祉課： 利用者サービス向上全般についてが「B」評価であり説明した。

委員長： ではその部分について具体的になぜ「B」にしたのかをもう一度説明いただきたい。

児童福祉課： アンケート結果は高評価をいただいているが、保護者からの意見の中で若干苦情のようなものがあつたため、総合的に判断し評価したところである。

委員： 私個人の感覚としては「A」というのは感心するほどの良さ「excellent」であるが、見せていただいたところ、「さすがだな」というほどの感動は無かったので、「A」評価ということに疑問を感じた。

委員長： それぞれの課で「A」と評価しているわけであるが、完璧であるという意味なのか、多少疑問点はあるものの一生懸命やっているからという意味の「A」なのか、その辺りについての意見はあるか。所管する施設なので、「B」「C」と書きづらい部分はあると思うが。「優れている」「大変優れている」の違いは何かあるか。

障害福祉課： 扇台福祉作業所については、4つの項目中2項目が「B」であった。これについては、「A」評価でもよいかという思いもあつたが、やはりマニュアル等のできていない部分があつたので、「A」というのは「ほぼ完璧」というイメージであるため、それであれば、「A」に近い「B」という意味合いで2つの項目は「B」とした。ただ、総合評価としては、アンケート結果を見ると多くの方から信頼を得て安定した運営をしているところである。私ども担当課では、たくさんの施設の比較の中で評価すべきなのだが、指定管理を導入している福祉作業所は扇台福祉作業所一カ所しかなく、マニュアル等の整備もすぐに対応してもらう約束をしているので、問題ないと判断し「A」評価とした。

児童福祉課： 同様に黒須保育所一カ所が指定管理を導入している状況である。総合評価であるが、多少アンケートに苦情めいたものがあつたが、児童福祉課に直接苦情等はきていないこと、また、過去からの実績に基づき安定的な運営をしていると

判断し、「A」評価とした。

委員： 「A」評価でなくては選定できないということではない、ということで合っているか。

委員長： その通り。先ほどご覧いただいた指針の中に指定管理者の選定方法ということで、合理的であれば市が指定・指名する方法をとることができる。しかし、それは「A」ならいい、「B」ならいいということではない。

委員： 他にもっと良い指定管理者がないというのが個人的な感想であるが、しかしそれが「excellent」かということ首をかしげてしまうというのが心境である。

委員： 定量的に、どこまでが「優れている」でどこからが「大変優れている」という切り分けはなかなか難しい。あくまでもイメージになってしまう。

委員： 最高評価というと「S」などをつけ、98～99点のイメージがあり、80点以上がその下のランクというような感覚であったため疑問に思った次第である。

委員長： 「A」という評価にこだわっているわけではないので、「これはAではないのではないか」といった意見もよいと思う。ただ、8年間指定管理者として運営してきたことも念頭に置いた上でご判断いただきたい。

次期候補者の選定方法をどうするかということについては、次々回に決定したいと考えている。ぜひ、それまでの間、資料等を精査していただき、またご意見をいただければと思う。

5 その他

今後の日程について

- ・次回は7月19日（金）に入間市振興公社が指定管理者となっている4施設の現指定期間の総括・評価の内容で行う。
- ・次々回は7月26日（金）に選定方法の決定、仕様書（案）、採点方法の内容で行う。

以上